

1 主題構成表

主題名 よいとおもうこと、よくないとおもうこと  
資料名 おかあさんとのやくそく

<p><b>■内容項目A</b> <b>善悪の判断、自律、自由と責任</b> よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。</p>	<p><b>■内容項目から見た児童の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よくない行動をしている友達には、流されずに正しい行動を伝えることができる児童が多い。</li> <li>・仲の良い友達には、都合よく行動してしまうことがある。</li> <li>・よくない行動を指摘されると、言い訳をしたり、うそをついてごまかそうとしたりする児童もいる。また、教師が見ていないところでは、悪いとわかっているにもかかわらずよくない行動をとったり、つられたりしてしまう児童も少数いる。</li> </ul> <p><b>(要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よいことと悪いことの区別をしたり、場面に応じたよい行動とよくない行動を判断したりすることができる児童が多い。</li> <li>・行動の判断基準が友達の好き嫌いにかわってしまうため、よくないことだと分かっているにもかかわらず、行動をしてしまう。</li> <li>・よい行動をするのは、「褒められたい」や「叱られたくない」という他律的な思いがあり、きまりの意味や、状況に応じたよい姿などを自分で考えることができていない。よいと思った行動をしたときに、すがすがしい気持ちになった経験が少ないため、よくない行動をとってしまう。</li> </ul>	<p><b>■資料の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本教材は、約束の時間になっても遊びに来ないあきららに対し、負の感情のまま、メッセージを送ろうとする主人公が、自身の行動を見つめ直し、お母さんとの約束をきっかけに、はじめの行動が、思いに身を任せてとった誤った行動であったことに気づき、よい行動をしようとする内容である。</li> <li>・メッセージを打ち直した主人公の姿から、友達と仲よくありたいと願う心や、約束はみんなが気持ちよく過ごすためのものであり、その大切さやそれを守ることのよさについても考えることができる。</li> <li>・主人公がメッセージを送る前に立ち止まった場面に着目し、よく考えることで悪いと思った行動を改め、よい行動をとることができたことに気付かせる。そのために、お母さんと、約束をしたからメッセージを打ち直したのではなく、よく考え、自分の行動が正しいか判断したことによるものだと気付かせ、よい行動をとると、すがすがしい気持ちになるように指導したい。</li> </ul>
<p><b>■ 価値の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間はだれもが善に憧れ、悪を憎む心をもっている。その心が「よいことを行う」「間違っていることを改める」という意欲となり、行動として表れる。善悪の判断は、時、場所、相手など、状況によって異なる。また、善を行うときは独りよがりであってはならない。</li> <li>・人として行ってよいことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、過信や自分勝手ではなく、よいと思ったり正しいと判断したりすることができる力を伴った自信や自律的な態度でなくてはならない。よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じるところに従って、誠実かつ謙虚に行動することが大切である。</li> <li>・この時期の児童は、何事にも興味、関心を示し意欲的に行動することが多い。よいと思ったことができたときのすがすがしい気持ちを思い起こさせるなどして、小さなことでも進んで行うことができる意欲と態度を育てることが大切である。</li> </ul>		

**■ねらい**  
主人公がメッセージを読み返しているときの思いを考えることで、自分でよく考えて、よいと思ったことを自信をもって行うことで、すがすがしい気持ちになることに気づき、よいと考えたことを進んで行うとする態度を育てる。

**■研究内容に関わって**

【研究内容Ⅱ】仲間と考えを深め合い、自分自身を見つめることができる道徳授業のあり方  
(1) 児童の学習状況を具体的に描いた指導と評価の一体化

- ・深めの発問での問い返しで、相手の気持ちにも触れることを通して、主人公がメッセージを打ち直したのは、お母さんと約束をしたからという他律的な理由ではなく、相手のことをよく考えて、傷つけないようにしたいと、自分で判断したからだということに気付かせる。

## 2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇これまでの学習を振り返り、価値への意識付けをする。</p> <p>○してはいけないことをするとどうなりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も相手も嫌な気持ちになる。</li> <li>・心がすっきりしないから、絶対にしてはいけない。</li> <li>・周りの人も嫌な気持ちになるから、自分でよく考えて、いけないと思っただらしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習で考えたことについて振り返り、よい行いをするために大切なことについて考える意識を高める。</li> </ul>
展開前段	<p>◇「おかあさんとのやくそく」を読み、よい行いをするために大切なことを考える。</p> <p>○てつやは、どんな気持ちでメッセージを打ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なにかあったのかな。心配だな。</li> <li>・もう時間が過ぎているのに、なんで来てくれないの。</li> <li>・約束したのに。ひどい。</li> <li>・早く一緒に遊びたいのに。</li> </ul> <p>◎メッセージをもういちど読み返しているとき、てつやはどんな気持ちでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんと約束したんだっただ。</li> <li>・友達を悲しませるような使い方か確かめないと。</li> <li>・あきらがこのメッセージを見たら、悲しむかも。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深めの発問】</p> <p>○お母さんとの約束だけで、メッセージを打ち直したのでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんとの約束がなければ、嫌な気持ちのまま、メッセージを直さずに送っていたと思う。</li> <li>・あきらの方を考えたら、約束がなくても打ち直したと思う。</li> <li>・最初のメッセージがよくないと気付いたから、打ち直したと思う。</li> </ul> </div> <p>○てつやは、なんとメッセージを打ち直したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大丈夫。</li> <li>・ゆっくりでいいよ。</li> <li>・待っているから、焦らず来てね。</li> <li>・遊ぶのが楽しみだね。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よく考えて、よいと思ったことをすると気持ちがよい。</p> </div> <p>◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。</p> <p>○よく考えて行動できたこと、迷ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床のごみを落としてしまった時に、そのままにしないで取ったら気持ちよかった。</li> <li>・給食配膳の時、友達が「多いのちょうだい。」と言ったけど、みんな同じ量でなくてはいけないと思い、同じようにつけたら気持ちよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の確認をして、あきらだけ、その場にいないという状況を押さえる。</li> <li>・「てつやは約束を破られているよね。」と問い返したり、表情カードを用いててつやの気持ちを表したりすることで、てつやが嫌な気持ちになっていることに気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価の視点】</p> <p>深めの発問での問い返しであきらの気持ちにもふれることを通して、約束だからという判断ではなく、自分でよいことかを考えて行動することが大切だと気付いている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束だからという他律的な判断ではなく、相手の気持ちを考えている児童の意見を取り上げ、自分で考えてよいことをしたいという思いがあることを押さえる。</li> <li>・打ち直した後のメッセージを見たあきらの気持ちを問い返すことで、てつや自身が、すっきりしていることに気付かせる。</li> <li>・表情カードを用いて、よい判断ができたときの気持ちの変化を板書に位置付ける。</li> <li>・教師が学校生活で見つけた児童の姿を紹介し、自身の経験を思い出すきっかけとする。</li> </ul>
展開後段	<p>◇教師の説話を聞く。</p> <p>○よく考えてよいと思った行動をし、気持ちがよくなった経験について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の経験を紹介し、よく考えて、よい行いを進んで行おうという意欲を高める。</li> </ul>
終末	<p>◇教師の説話を聞く。</p> <p>○よく考えてよいと思った行動をし、気持ちがよくなった経験について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の経験を紹介し、よく考えて、よい行いを進んで行おうという意欲を高める。</li> </ul>